社会福祉法人　滋賀県聴覚障害者福祉協会
滋賀県立聴覚障害者センター
びわこみみの里
湖北みみの里
聴導犬訓練事業

2022年度　事業報告

2022(令和４)年度社会福祉法人滋賀県聴覚障害者福祉協会 事業報告

1. 社会福祉法人滋賀県聴覚障害者福祉協会 本部

１．法人関連会議開催状況

（1）理事会の開催

第１回理事会　2022 年 6 月 6 日（月）　滋賀県立聴覚障害者センター
第２回理事会　（書面）　2022 年 8 月 23 日
第３回理事会　2022 年 9 月 28 日（水）　キラリエ草津
第４回理事会　2023 年 3 月 6 日（月）　滋賀県立聴覚障害者センター

（2）評議員会の開催

第１回評議員会　2022 年 6 月 25 日（土）　滋賀県立聴覚障害者センター
第２回評議員会　2023 年 3 月 25 日（土）　滋賀県立聴覚障害者センター

（3）経営会議　理事長、常務理事、事務局長、３施設所長、副所長

第１回経営会議 2022 年 5 月 20 日（金）滋賀県立聴覚障害者センター
第２回経営会議 2022 年 7 月 21 日（木）滋賀県立聴覚障害者センター
第３回経営会議 2022 年 8 月 29 日（月）びわこみみの里
第４回経営会議 2022 年 10 月 5 日（水）滋賀県立聴覚障害者センター
第５回経営会議 2022 年 12 月 7 日（水）滋賀県立聴覚障害者センター
第６回経営会議 2023 年 2 月 1 日（水）滋賀県立聴覚障害者センター
第７回経営会議 2023 年 2 月 20 日（月）滋賀県立聴覚障害者センター

（4）人事委員会

第１回人事委員会　2022 年 9 月 1 日（木）滋賀県立聴覚障害者センター
第２回人事委員会　2022 年 11 月 7 日（月）滋賀県立聴覚障害者センター
第３回人事委員会　2022 年 11 月 22 日（火）滋賀県立聴覚障害者センター
第４回人事委員会　2022 年 12 月 7 日（水）滋賀県立聴覚障害者センター
第５回人事委員会　2022 年 12 月 22 日（木）滋賀県立聴覚障害者センター
第６回人事委員会　2023 年 1 月 13 日（金）滋賀県立聴覚障害者センター
第７回人事委員会　2023 年 2 月 2 日（木）　滋賀県立聴覚障害者センター

（5）法人事業関連会議

○高齢聴覚障害者事業推進チーム(セミナー担当者)会議
9 月 12 日、10 月 3 日、11 月 1 日、12 月 1 日、1 月 12 日 滋賀県立聴覚障害者センター
○利用者拡大チーム会議
6 月 15 日、8 月 9 日、12 月 13 日、3 月 14 日　滋賀県立聴覚障害者センター

（6）運営協議会等

○法人運営協議会／2023 年 3 月 15 日(水) 滋賀県立聴覚障害者センター
○虐待防止委員会／2023 年 2 月 28 日(火) 滋賀県立聴覚障害者センター

（6）監査

○内部監査　2022 年 5 月 18 日(木)　滋賀県立聴覚障害者センター
・出席／法人監事、理事長、常務理事、事務局長、事業所長、会計責任者、出納担当
・内容／2021 年度事業報告及び決算等

２．自主事業の実施

（1）法人季刊誌「ＢＩＷＡＫＯ３３だより」の発行

・第104号　2022年4月10日発行　(500部)
・第105号　2022年7月10日発行　(500部)
・第106号　2022年10月10日発行（500部）
・第107号　2023年1月10日発行　(500部)

（2）新任職員研修

６月～７月　新任職員　２名（非正規職員含む）

（3）法人職員合同研修

５月22日(日)　キラリエ草津(実践交流)、8月7日(日)　キラリエ草津　（パワハラ防止）

（4）聴覚障害者の社会的自立を考えるセミナー

（草津会場）　2022年12月18日(日)、午後1時～4時　キラリエ草津
（米原会場）　2023年2月19日(日)、午後1時～4時　米原学びあいステーション
テーマ(共通)：高齢聴覚障害者の集う場の必要性について
参加者：173名（草津／70名　米原／103名）

３．その他

（1）社会保険労務士との契約（労務管理等の相談）

相談：随時

（2）助成

・共同募金会助成・・法人セミナー、聞こえない子ども支援事業

（3）近畿合同機構への参画

・8月12日　オンライン世話人会
・11月25日　経営交流会

（4）全国聴覚言語障害者福祉研究交流会への協力

オンライン分科会　レポートなど協力

（5）県・各市手話言語条例等への協力

・大津市手話施策推進協議会
・米原市手話施策推進協議会

2. 2022（令和4）年度 滋賀県立聴覚障害者センター 事業報告

① 滋賀県立聴覚障害者センター運営・事業

１．施設の管理運営

滋賀県との委託契約により、滋賀県立聴覚障害者センターの管理運営を行いました。

２．利用状況

○年間のべ利用者数

5,660 人（聴覚障害者／1,951 人＝34%　聴覚障害者以外／3,709 人＝66%）

○月平均利用者数

472 人

○来所総累計　　人

個人	1,407
団体	4,253

○利用者内訳

団体名	人数	団体名	人数	団体名	人数
ろうあ協会	1,279	関連団体・後援会	790	ｾﾝﾀｰ・法人事業関連	2,959
中途失聴難聴者協会	274	要約筆記関係	115	その他	84
手話通訳関係	141	字幕ﾎﾞﾗﾝﾃｨｱ他	0		
手話サークル関係	18	合　計			5,660

３．滋賀県立聴覚障害者センターの管理運営事業

（１）聴覚障害者等に対する生活相談の実施

○滋賀県内の聴覚障害者や家族、関係者、機関からの相談に年間 172 件対応しました。

○統計は、相談者の人数（機関などからの相談は１件）です。

生活相談担当１名分（きこえない相談員）です。

１）相談内容別件数

生活介護	労働	教育	医療	福祉情報	施設	法律	コミュニケーション	その他	計
80	18	0	4	0	8	3	42	21	172

※コミュニケーション・・手話通訳に関することや人間関係のコミュニケーション等

２）相談受付経路

相談受付経路	本　人	家族・関係者	機　関	合計
人数	113	7	52	172

○相談内容のうち、生活に関しては、びわこみみの里と連携し、コミュニケーション支援や生活への支援などを継続的に行っています。また新型コロナウイルスの影響により、介護に関しての相談が増加しています。法律に関しては、他の専門機関と連携して、解決に向けて支援を行いました。労働に関しては、職場でのトラブルから、きこえないことに対する理解を深めるために、企業研修の実施で、きこえない社員の不安を共有できてよかったとのきこえる社員の声をいただきました。教育相談に関しては、聴覚障害児サポート事業との連携を図りながら聾話学校との情報交換を行う必要があると感じています。

○相談経路では、関係機関からの相談が一番多く、市町福祉事務所が抱えているケースについて一緒に取り組みました。高齢聴覚障害者等が身近な場所で ICT 機器（スマートフォン、タブレット等）の使い方を学ぶことができるようなサポートを進めていく必要があります。

○近畿レベルの聴覚障害者相談支援担当者等とのネットワークの構築

「近畿ブロック聴覚障害者相談支援従事者連絡会」の幹事として大阪・京都・兵庫の聴覚障害者相談支援担当者と一緒に取り組みました。

第1回は、2022年10月25日において、オンライン研修で「障害者情報アクセシビリティ・コミュニケーション施策推進法制定に伴うこれからの相談事業のあり方について」を学びました。

第2回は、2023年3月7日に京都府聴覚言語障害センターで「コロナ禍で相談内容は変化した？」などをグループワークで参加者同士が取り組むべき課題等を議論しました。近畿の参加者は25名でした。

○新型コロナウイルスの影響などで非対面型（電話・メール・オンライン）の相談を強化しました。

（2）手話通訳者の派遣

○手話通訳業務担当（２名）

・聴覚障害者センター利用者及び関係機関担当者等との意思疎通の支援を実施しました。

・手話通訳者養成事業や現任者の研修企画、運営など手話通訳関連業務を担当しました。

（3）情報機器の貸出

○情報機器貸出数

貸出機器	台数
磁気ループ	10
オーバーヘッドカメラ(OHC)	9
プロジェクター	49
PC	76
スクリーン	37
補聴器	0
その他(※)	173
合計	354

(※)その他の貸出機器　　ループ 延長コード・マイク・PC接続キット、TV・DVD等。

（4）その他

①広報誌「センターだより」の発行

○年４回　発行

・第105号…令和４年４月10日発行（1000部）
「就任の挨拶」「職員の動き」他

・第106号…令和４年７月10日発行（1000部）
「きこえにお困りの方、相談できます」他

・第107号…令和４年10月10日発行（1000部）
「手話通訳者をめざして頑張っています」他

・第108号…令和５年１月10日発行（1000部）
「防災学習会」他

②その他

○聴覚障害者情報ネットワーク事業の実施
ホームページ・メールマガジンによる情報発信

○特定非営利活動法人 全国聴覚障害者情報提供施設協議会の理事および聴覚障害者の情報メディアに関する専門委員会へ委員選出

② 聴覚障害者コミュニケーション確保対策事業

１．手話通訳者養成・研修事業

（1）手話通訳者養成事業

講　座	開　講　期　間	修了/受講 (人数)	会　場
通訳Ⅰ　(夜コース)	7月5日（火）～ 2月28日（火）	8/8	滋賀県立聴覚障害者センター
通訳Ⅰ　(昼コース)	7月6日（水）～ 3月1日（水）	8/8	滋賀県立聴覚障害者センター
通訳ⅡⅢ	4月9日（土）～ 10月29日（土）	8/8	草津市民総合交流センター

○講座では手話通訳の理念や活動に関連した知識の学習や、文章・手話の要約やポイントをまとめるなど「翻訳」の力を伸ばす学習、また、場面を想定して通訳等を行うロールプレイの演習、実際場面での通訳実習等を取り入れました。

○講座の運営にあたっては手話通訳者養成講座担当講師会議を開催し、その都度協議を行いながら指導内容の向上に努めました。

（2）手話通訳者全国統一試験

○養成ⅡⅢ課程修了生8名と昨年度までの修了生を含め18名が受験を申し込み、15名が受験しました。合格者は3名で、2021年度の養成ⅡⅢ課程修了者でした。
（合格率：全国18.31％ 滋賀20.00％）

○滋賀県試験委員会実施要綱に基づき、各団体（滋賀県ろうあ協会、滋賀県手話通訳問題研究会、滋賀県手話通訳士会）から推薦されたメンバーで構成された、滋賀県試験委員会を設置しました。

（3）手話通訳者現任研修

○登録手話通訳者を対象に、手話通訳の「価値・倫理」、「知識」、「技術」、「健康」をテーマについて研鑽を行い資質向上をめざして開催しました。

○新型コロナウイルス感染拡大防止のため、会場での受講人数に制限を設け、同じ内容を2日間、2回に分けて開催するなど、工夫をしました。

○健康管理学習は継続的に開催しているもので、手話通訳者50名の参加がありました。滋賀県だけでなく、2020年の全国調査の結果をもとに、新分野である電話リレー通訳従事者の結果や、腕や肩の痛みに加えた人間関係のストレスや雇用された通訳者の身分とのかかわりの結果を学習することができました。

○手話通訳・要約筆記者の通訳活動に関する共通の理解促進と、現場の悩みや課題などを話し合う場を設け、顔の見える学習会を4か所の地域で行いました。

○手話通訳の倫理・実践研修として、「自らの手話通訳を振り返る」をタイトルに言語行為について学びました。

○コロナ禍において手話通訳者の映像配信が標準化されてきています。目で聴くテレビ番組制作ディレクターを講師に迎え、撮影の注意点や、平面化されて配信される手話の特徴など、実際に通訳者を撮影し評価を受けながら研修を行いました。

日時／会場	研修テーマ／講師	参加人数
4月16日（土） 9時40分～12時 キラリエ草津	「手話通訳者・要約筆記者がいきいきと活動するために」 講師　北原　照代氏（滋賀医科大学特任准教授）	75名
5月18日（水）13時～15時 湖北みみの里（米原市）	2022年度事業説明　意見交換会	13名
5月25日（水）13時～15時 びわこみみの里（守山市）		１５名
5月26日（木）19時～21時 明日都浜大津（大津市）		１６名
６月１日（水）19時～21時 三雲まちづくりセンター（湖南市）	2022年度事業説明　意見交換会	１３名
９月２２日（木）14時～16時 聴覚障害者センター	「自らの手話通訳を振り返る」 講師　唐澤　美加氏 （東広島市職員・手話通訳士）	２６名
９月２３日（金・祝）10時～12時 聴覚障害者センター		１５名
2月4日（土） 10時00時～11時00分 14時00分～15時00分 聴覚障害者センター	「2025滋賀国スポ・障スポ　手話・要約筆記ボランティアについて」 講師：職員	３７名 １１名
２月４日（土） 11時00分～12時30分 聴覚障害者センター	「映像通訳について」 講師：職員	３７名
３月１１日（土） 10時30分～13時00分 聴覚障害者センター	「（実技）映像の手話通訳」 講師　柳　喜代子 （目で聴くテレビ　番組制作ディレクター）	４１名

○手話通訳活動の休止から活動再開をする通訳者をはじめ、登録手話通訳者が自由に参加する手話トレーニングを開催しました。６回の開催に延べ17人の参加がありました。主にろう者の表現から学ぶ学習を、目で聴くテレビや手話ニュースを活用しました。

○新規登録者4名を対象に、新規登録者研修を行いました。前年に引き続き新型コロナウィルス感染拡大防止のため講演会の開催が減少し、新規登録者を派遣する現場も減少しました。新規登録者4名が1回～3回の派遣が実施された3月の開催となりました。

２．要約筆記者養成・研修事業

（1）要約筆記者養成事業

講　座	開　講　期　間	修了／受講 (人数)	会　場
手書きコース（通年）	5月28日(土)～1月21日（土）	8/17	滋賀県立聴覚障害者センター及び他会場

パソコンコース（通年）	5月28日(土)～1月21日（土）	8/11	滋賀県立聴覚障害者センター及び他会場

○今年度は手書き・パソコンコース（通年）を同時開講し、共通講義部分ではオンライン配信を取り入れました。県､市町意思疎通支援事業に対応できる技術をもった要約筆記者の養成を目標に、聴覚障害に関する基礎知識、日本語に関する基礎的知識を学んだうえで、要約筆記事業の位置づけ、要約筆記の目的を理解したのちに要約筆記における表記、意図を伝える要約の実習を重ねました。

（2）要約筆記者認定試験

（一社）要約筆記者認定協会の主催で実施しました。

○実施日：2月19日（日） 滋賀県立聴覚障害者センター

○受験者数：手書き 6名 パソコン6名 手書き・パソコン両手法 1名

○合格者：手書き 1名 パソコン 2名

（全国合格率：手書き24%、パソコン29% 滋賀合格率：手書き10%、パソコン28%）

（3）要約筆記者養成スキルアップ講座

○2022年度までの養成講座修了者を対象に1月～2月で計3回の試験対策講座を開催しました。実技に重点をおき、内容をつかむ書き方を特に強化しました。

（4）要約筆記者現任研修

○登録要約筆記者を対象に、資質向上をめざして2回開催しました。研修会は「知識」、「健康」をテーマに開催しました。

	日時／会場	手法	研修テーマ／講師	参加人数
①	4月16日（土） 10時～12時 聴覚障害者センター	共通	「手話通訳者・要約筆記者がいきいきと活動するために」 講師：北原照代氏 滋賀医科大学特任准教授	21名
②	8月28日（日） 10時00分～11時30分 聴覚障害者センター	共通	「聴覚障害者に関わる規則や条例などを学ぶ」 講師：永井厚子氏 滋賀県障害福祉課課長補佐	19名
③	10月23日（日） 13時00分～15時00分 聴覚障害者センター	共通	「難聴者の心理と支援 要約筆記者の役割」講師：田中三津子氏 要約筆記者・手話通訳士	23名
④	2月4日（土） 10時00時～11時00分 14時00分～15時00分 聴覚障害者センター	共通	「2025滋賀国スポ・障スポ 手話・要約筆記ボランティアについて」 講師：職員	20名

○要約筆記トレーニングを3回開催しました。集まったメンバーで技術の向上を目指すとともに、派遣に対する疑問などを出し合う交流の場にもなりました。

3．意思疎通支援者（手話通訳者・要約筆記者）派遣事業

（1）手話通訳者派遣事業

○登録手話通訳者数 138名（内、手話通訳士40名含む）

○通訳内容の主訴を把握し、依頼者の要望に応じた派遣の実施に努めました。また、手話通訳者の健康にも配慮しました。

○手話通訳の健康対策の一環として頸肩腕検診と講習会を実施しました。

○派遣実施状況

	県事業	公的事業	合 計

派遣件数	53	371	424
派遣人数	128	832	960

○県事業は、県の機関が主催する行事や、県内の聴覚障害者団体が主催または共催する広域な行事に派遣しているものです。滋賀県ろうあ協会が主催する行事や会議、滋賀県中途失聴難聴者協会、盲ろう者友の会など当事者団体の行事や会議にも派遣を行っています。前年と比較して3件減少ですが、派遣総人数は、28人22%増加です。

○公的事業は、公的な機関や団体が予算化した行事や集会などへ派遣しているものです。新型コロナウイルス感染防止のため事業縮小は継続されましたが、感染防止策をとりながら、依頼件数は回復されています。　件数は144%人数は180%の増加です。

○滋賀県が整備した遠隔手話通訳を、（株）プラスヴォイスのシステムを継続して契約し、実施しました。

県事業	医療	人権	労働	住居	教育 保育	社会 生活	福祉 推進	文化 教養	講座	放送	啓発 講座	合計
件数	0	0	0	0	2	1	41	0	12	0	0	56
人数	0	0	0	0	4	1	74	0	24	0	0	103

（2）要約筆記者派遣事業

○登録要約筆記者数　74名

○通訳内容の主訴を把握し、依頼者の要望に応じた派遣の実施に努めました。また、要約筆記者の健康にも配慮しました。

○要約筆記者の健康対策の一環として頸肩腕検診を実施しました。

○派遣実施状況

公的事業	医療	人権	労働	住居	教育 保育	社会 生活	福祉 推進	文化 教養	講座	放送	啓発 講座	合計
件数	0	0	5	0	36	16	301	0	13	0	0	371
人数	0	0	8	0	61	38	702	0	23	0	0	832

	県事業	公的事業	合計
派遣件数	52	49	101
派遣人数	169	176	345

○県事業は、県の機関が主催する行事や、県内の聴覚障害者団体が主催または共催する広域な行事に派遣しているものです。滋賀県中途失聴難聴者協会、人工内耳友の会など当事者団体の行事や会議にも派遣を行っています。今年度は新型コロナウイルス感染の制限も緩和され、派遣数は増加しました。件数は前年度の約1.5倍。

○公的事業は、公的な機関や団体が予算化した行事や集会などへ派遣しているものです。同様に新型コロナウイルス感染の制限も緩和され、秋以降から依頼が増加しました。前年度の約2.3倍。

4.市町域・都道府県を超える意思疎通支援者（手話通訳者・要約筆記者）派遣調整事業

[実施内容]

○意思疎通支援の派遣において、市町域間、都道府県域を超えての派遣が必要な時に、市町からの要請を受けて、派遣先の関係機関(団体等)との派遣調整を行いました。

5．手話通訳者設置事業

○手話通訳業務担当(1.5名)

・手話通訳者派遣事業のコーディネート担当としての業務やそれに関連する事務、また、研修会の

企画、運営などを担当しました。
・市町との連携では、市においては障害福祉担当者、設置手話通訳者等と連携しながら手話通訳を実施し、町においては、障害福祉担当職員と連携を図りながら、暮らしに関わる助言等を行いました。

６．聴覚障害者生活訓練事業

（1）日曜教室事業

1）いきいき情報教室の開催

○全体で７回計画しましたが、１回を中止しました。

○その他は以下のとおり共催や共同開催が多くなりました。

○内容は、防災関連企画、高齢者企画、若者や子ども企画を実践・体験型学習で実施しました。

	開催地域	開催日・会場	主な内容	全参加者
①	守山市	７月６日（水）13時～14時 びわこみみの里	これなら出来る！らくらく体操教室 講師：理学療法士 共催：法人高齢聴覚障害者事業推進チーム	中止
②	彦根市	９月21日（水）10時～14時 湖北みみの里	防災カフェ「いざめしを作ろう！」講師：長浜市ボランティアセンター 共催：湖北みみの里	17名
③	大津市	11月10日（木）10時～12時 大津市ふれあいプラザ	地域サロンってどんなところ？何するの？　講師：滋賀県立聴覚障害者センター 共催：法人高齢聴覚障害者事業推進チーム	17名
④	草津市	11月13日（日）10時～12時 滋賀県立聴覚障害者センター	聞こえる人と聞こえない人がともに学ぶ防災学習会～まるで運動会のように～ 講師：ＮＰＯ法人しがいち防災研究所 共催：滋賀県聴覚障害者災害地域救援本部	36名
⑤	守山市	2023年３月２日（木）10時30分～14時45分 びわこみみの里	びわこみみの里にて　いつまでも元気に！体操とみみの里見学 講師：理学療法士　片岡大亮氏 共催：びわこみみの里	32名
⑥	近江八幡市	2023年３月25日（土）13時30分～16時 G-net しが男女共同参画センター	つながりを広げて楽しく社会生活！～将来の自己像をイメージしてみよう～　協力：滋賀県ろうあ協会青年部　龍谷大学手話サークル会員	27名
⑦	草津市	2023年３月27日（月）９時～12時30分	エコ・クッキング 講師：大阪ガスネットワーク、大阪ガスクッキングスクール	19名

（2）手話講習事業

○聴覚障害者のための手話学習会

「ろうあ活動を通した国際活動」と題し、各国の政治、文化、宗教的の違いにより障害者観が異なっている実情や、障害者権利条約の成立までの背景など、講演を通じて学習しました。参加は聴覚障害者11人を含む28人。

	日時／会場	内容	参加人数
①	2月23日（祝・木）13時～15時30分 滋賀県立聴覚障害者センター	『ろうあ活動を通した国際活動』 講師：全日本ろうあ連盟理事 嶋本　恭規氏	２８名

○青年講座

・これまでは滋賀県ろうあ協会青年部と龍谷大学手話サークル会員が手話の学習や伝達方法の意見交換を開催してきましたが、今年度は日曜教室事業として、県内の聴覚障害児とその保護者も参加して開催しました。わが子の将来を想う保護者さんからはグループワークでも質問が相次ぎ、ロールモデルとしてろう青年の自覚と自信にもつながる企画となりました。開催内容は上記日曜教室事業欄に記載。

(3)聴力相談事業

○きこえの相談

・月１回、土曜日（午前10時～午後４時）　年9回実施

（1月は大雪で公共交通機関の乱れが予想されたため中止）うち出張相談2回：守山市内（11月）米原市内（3月）

・相談者の地域分布（人数）

草津市	4	大津市	7	近江八幡市	4
栗東市	1	湖南市	2	彦根市	1
守山市	2	東近江市	1	米原市	1

・相談者の年齢構成（人数）

10代以下	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	合計
0	1	2	1	1	2	8	8	23

○主な相談内容

・相談人数は23、相談者の履歴は、初めての方(21名)と再来者(2)でした。全体の傾向は、70才以上の方が7割を占めています。聞こえに不自由を感じる高齢者の相談ニーズが高まっています。

・相談内容の主なものは、「電話の声やテレビの音が聞きとりにくい」、「補聴器をつけてもよく聞こえない」など聞こえについての不安や悩みについての相談や、「家族との間でのコミュニケーションがとりにくいため困っている」などの相談が多く見受けられました。

・聞こえに関する相談では、補聴器の購入や使い方、身体障害者手帳取得に関する助言などを行いました。

７．聴覚障害児及び保護者サポート事業

○全体で4回開催しました。

○昨年度から取り組み始めた手話絵本の会や、長期休暇中の聞こえない子どもどうしの交流の場づくりを目指した企画を実施しました。

○夏休み企画では、子ども企画と平行して保護者の手話講座を開催しました。お子さんと日常のやりとりで知りたい表現を中心にお母さんたちが手話を学びました。

〔開催内容〕場所：聴覚障害者センター

	日　程	内　容	参加者
①	６月 19 日（日） 10時～12時	手話で絵本を楽しみましょう	全体19名 (4家族)
②	８月２日（火）10時～12時	１．夏休み企画①～手作りしよう～涼しく泳ぐ金魚を作ろう 講師：岩地政隆さん（滋賀県ろうあ協会）	全体14名 （５家族）

		２．保護者の手話教室　　講師：法人登録講師	
③	8 月５日（木）10 時～12 時	１．夏休み企画②午前～体を動かそう～ダンボールで遊ぼう/午後～夏祭りを作ろうその１～相談して決めよう ２．保護者の手話教室　講師：法人登録講師	全体 13 名 （６家族）
④	8 月６日（土）10 時～16 時	夏休み企画③午前～夏祭りを作ろう～/午後～夏祭りを楽しもう～	全体 17 名 （4 家族）
⑤	10 月 30 日（日） 1 時 30 分～15 時 40 分	保護者学習会 「きこえない・きこえにくい子どもたちの明るい未来に向けて」 講師：菅原仙子氏（葛飾ろう学校乳幼児教育相談担当）	全体 10 名 （2 家族）
⑥	12 月４日（日） 10 時～12 時	手話で楽しむクリスマス会	全体 25 名 （6 家族）

（2）スタッフ会議　場所：聴覚障害者センター

回	日程	内容	参加者
①	4 月 23 日（土） 13 時 30 分～15 時 30 分	・手あそび歌の制作 ・6/19 開催内容の準備	3 名
②	5 月 21 日（土） 13 時 30 分～16 時	・6 月手話絵本リハーサル ・夏休み企画準備	9 名
③	７月 16 日（土） 13 時 30 分～16 時	・夏休み企画準備	7 名
④	９月 15 日（木） 10 時～12 時	・手話動画のシナリオ作り	3 名
⑤	9 月 20 日（火） 10 時～12 時	・テーマとシナリオ作成	3 名
⑥	9 月 29 日（木） 10 時～12 時	・収録	3 名
⑦	10 月 1 日（土） 13 時 30 分～15 時 30 分	・クリスマス会準備	8 名
⑧	11 月 5 日（土） 13 時 30 分～15 時 30 分	・クリスマス会準備・リハーサル	9 名

８．手話通訳士養成講座開催事業

○手話通訳技能認定試験（手話通訳士試験）の 2022 年度受験予定者を対象にした「試験対策コース」を実施しました。

滋賀県手話通訳士会の協力を得て講師体制を整え、個別指導を強化するなど講座の充実に努めました。

講座	開催日時	受講人数	会　　場
試験対策コース	5 月 14 日(土) 6 月 25 日(土) 7 月 30 日(土) 8 月 27 日（土） 9 月 3 日（土）	10 名	滋賀県立聴覚障害者センター

※手話通訳技能認定試験（手話通訳士試験）実施日程　学科試験 7/24(日)実技試験 10 月 2 日（日）

９．字幕入りビデオ制作・貸出し事業

［事業内容］

①聴覚障害者用ビデオの（自主制作）（２本）映像編集をしました。

○「健康管理講習会」　７５分　（映像編集）

○「熱中症の注意について」　５分　（手話動画と字幕編集）

②ヒデオライブラリーの貸出

○ビデオ貸出件数　　５件　　１０本（昨年度６件１２本）

○登録者数　聴覚障害者・団体登録者（４９７名）一般・団体登録者（５６３名）

［特徴点］

○手話通訳者養成事業と連携し、教材制作や収録を行いました。

○聴覚障害者への情報提供として、ホームページに字幕付き手話動画を製作しました。

③聴覚障害者情報提供施設協議会 聴覚障害者向けソフト制作担当職員研修会（オンライン研修）

主催：全国聴覚障害者情報提供施設協議会

場所：神奈川県

１０．映像配信事業

①動画配信／３１コンテンツ【YouTube で配信】　　再生回数／２，１６７回

ホームページからの情報発信　　投稿４７件

③　市町委託事業

１．手話通訳者・要約筆記者派遣事業

（1）手話通訳者派遣事業

○市町事業は、市町から委託を受けた派遣です。直営の派遣事業を行う市は増えていますが（10市）、委託による依頼の利用はあります。独自の手話通訳者設置および派遣制度を持たない6町については、委託契約に基づく派遣依頼が継続しています。新型コロナウイルス感染拡大防止のため、福祉推進のイベントや教育、自治会などの集会の中止があった2018年度2019年度に比べ、全体的に回復傾向にあり、前年比145%となる増加の件数となりました。医療においては170%です。

遠隔手話通訳は、6市2町と契約を行い、複数回の利用がありました。（彦根市・栗東市・甲賀市・湖南市・東近江市・米原市・日野町・竜王町）

	医療	人権	労働	住居	教育保育	社会生活	福祉推進	文化教養	講座	放送	啓発講座	合計
件数	104	1	0	0	16	67	71	2	25	0	0	286
人数	103	1	0	0	21	94	129	2	49	0	0	399

（2）要約筆記者派遣事業

○市町事業は、市町から委託を受けた派遣です。

直営の派遣事業がない市町が大半のため、委託による依頼が多くなっています。しかし、新型コロナウイルス感染防止のため行事の縮小や、難聴者の生活に密着した依頼は減少傾向にあります。

（医療は55%減）

	医療	労働	教育保育	社会生活	文化教養	福祉推進	合計
件数	13	2	2	16	4	38	75
人数	14	3	3	24	4	111	159

２．市町手話奉仕員養成事業に係る講師派遣（受託事業）

市町からの要請に応え講師の派遣を行いました。派遣にあたっては、市町と連携を密に取ると共に、県事業(手話通訳者養成事業)との連携を図り、手話通訳者の拡大に繋がるよう取り組みました。

【講師を派遣した手話講座の実施日程】

○高島市手話講座（手話奉仕員養成講座基礎編）
［期　間］2022 年 5 月 20 日～2022 年 11 月 11 日 毎週金曜日 19 時 00 分～21 時 00 分
［講座数］全 26 講座

○米原市手話講座（手話奉仕員養成講座入門編）
［期　間］2022 年 6 月　1 日～2022 年 11 月 9 日 毎週水曜日 10 時 00 分～12 時 00 分
［講座数］全 24 講座

○彦根市手話講座（手話奉仕員養成講座入門編　未実施分）
［期　間］2022 年 4 月 7 日～2022 年 4 月 28 日 毎週木曜日 19 時 00 分～21 時 00 分
［講座数］全 4 講座

○彦根市手話講座（手話奉仕員養成講座基礎編）
［期　間］2022 年 6 月 23 日～2022 年 12 月 8 日 毎週木曜日 19 時 00 分～21 時 00 分
［講座数］全 27 講座

○湖南市手話講座（手話奉仕員養成講座基礎編）
［期　間］2022 年 5 月 23 日～2022 年 11 月　1 日 毎週火曜日 19 時 00 分～21 時 00 分
［講座数］全 23 講座

○東近江市・日野町・竜王町手話講座（手話奉仕員養成講座入門編）
［期　間］2022 年 7 月 12 日～2022 年 12 月 6 日 毎週火曜日 19 時 00 分～21 時 00 分
［講座数］全 24 講座

○近江八幡市手話講座（手話奉仕員養成講座入門編）
［期　間］2022 年 6 月 9 日～2022 年 11 月 10 日 毎週木曜日 19 時 00 分～21 時 00 分
［講座数］全 23 講座

○守山市手話講座（手話奉仕員養成講入門編）
［期　間］2022 年 6 月 2 日～2022 年 10 月 20 日 毎週木曜日 19 時 00 分～21 時 00 分
［講座数］全 20 講座

○甲賀市手話講座（手話奉仕員養成講座入門編）
［期　間］2022 年 5 月 26 日～2022 年 12 月 20 日 毎週火曜日 19 時 00 分～21 時 00 分
［講座数］全 23 講座

○草津市手話講座（手話奉仕員養成講座入門編）
［期　間］2022 年 6 月 3 日～2022 年 10 月 28 日 毎週金曜日 19 時 00 分～21 時 00 分
［講座数］全 20 講座

３．登録手話通訳者・要約筆記者の健康管理事業

①健康管理委員会の設置

登録活動者の健康管理や予防対策を目的とした同事業が円滑に行われるよう、関係団体の委員で構成する「健康管理委員会」を設置し、検診の運営及び検診結果や課題に対する検討などを行いました。

② 頸肩腕検診の実施

登録手話通訳者 119 名、要約筆記者 52 名（活動休止者を除く全員)を対象に一次検診(スクリーニング)、二次検診（特殊検診）を実施しました。一次検診の問診票の回収率は、手話通訳者が 96%(昨年 90%)、要約筆記者が 89%　(同 84%）でした。二次検診は、草津市内に会場を設け２日間実施しまし

た。昨年度に引き続き、大阪社会医学研究所（検診機関）による問診(血圧測定、身長、体重測定含む)医師による診察、関係団体の協力による「相談ブース」の設置を行いました。

［二次検診の結果］　（人）

	A判定	B1判定	B2判定	B3判定	C判定
手話通訳者	4	26	19	2	0
要約筆記者	0	2	3	0	0

③検診結果を生かす取り組み

検診の結果を踏まえた派遣業務を行うとともに、派遣事業の直営市に対しては、重複登録者(県と市)の健康管理に生かすため、情報の共有化を図りました。

③　衛生教育の実施

検診結果および登録者の健康の取組みや課題等を関係者へ広く啓発するため、聴覚障害者関係団体や行政など幅広く呼び掛け、健康管理講習会を開催しました。

④　自主事業

1.聴覚障害者理解のための啓発講座

○依頼団体（機関）と実施数及び受講対象者

【単発】

依頼機関	件　数
学　校	2
企　業	2
行政・団体	3

対 象 者	延べ人数
学生・教職員	80
社　　員	45
職員・参加者	157

【連続】

依頼機関	件　数
企　　業	1
行　　政	8

対　象　者	延べ人数
社　　員	8
市　町　民	158

○介護関係者の連続３回の講師派遣の依頼があり、高齢聴覚障害者の暮らしやコミュニケーション方法などについての理解を深めてもらうことができました。

○湖南広域行政組合消防職員に対する研修は毎年実施されており、聴覚障害者の理解を広めるとともに、手話だけでなく現場活動で必要なコミュニケーション方法を習得するため、模擬実習を取り入れた指導を行いました。

○聴覚障害者の雇用をきっかけに聴覚障害者のコミュニケーションや緊急時の連絡手段を学ぶ機会を持たされた企業があり、また、接客などの業務に役立てる為に手話や聴覚障害について学ぶ機会を持たれる団体がありました。

○各市の手話通訳者人材育成のための各市フォローアップやステップアップ講座の実施を協力しました。

○講師現任研修を３回実施しました。講義ができる講師を増やすために、模擬講義（きこえない人・きこえにくい人のくらしやコミュニケーションなど）についてグループ学習を進めました

２．手話通訳者・要約筆記者派遣事業

（1）手話通訳者派遣事業

○労働分野は、企業などの研修への派遣が主で、新型コロナウイルス感染防止のため、対面通訳の依頼は減っています。（38%減）

○放送分野では、県広報番組に協力しました。

また、手話通訳者映像の配信を含めた依頼も増加しています。

	医療	人権	労働	住居	教育 保育	社会 生活	福祉 推進	文化 教養	講座	放送	啓発 講座	合計
件数	0	1	104	0	0	0	1	0	48	21	0	175
人数	0	1	196	0	0	0	1	0	54	45	0	297

（2）要約筆記者派遣事業

○自主事業の派遣件数は、16件57人でした。企業の毎月の定例会議や研修への派遣の利用停止、企業の新たな利用申込はありませんでした。

3．「手話タイム・プラスワン」（県広報番組）協力事業

○びわ湖放送において県政ニュースを手話と字幕で伝える番組「手話タイム・プラスワン」（年間20回）への制作協力を行いました。

① 手話キャスター、聴覚障害者アシスタント、きこえるアシスタントを、各回1名ずつ派遣しました。

② センターの事業案内のほか、「きこえの相談」の周知や聴覚障害への理解に役立つ時事情報などの周知に努めました。また、番組内「きこえないひとのコミュニケーション（ミニ手話教室）」においては、季節にあわせた日常的な手話を紹介し、聴覚障害者だけでなく広く県民へ周知しました。

令和4年度収録スケジュール

4/20、5/18、6/1、6/15、6/29、7/13、8/3、8/24、9/7、9/21、10/5、10/19、11/2、11/16、11/30、12/14、1/18、2/1、2/15、3/15　※全20回　時間：9時～12時

4．聴覚障害者用ビデオ制作事業

聴覚障害者が様々な情報にアクセスできるよう、行政機関や団体などからの依頼に応じて手話や字幕挿入など、聴覚障害者のための映像制作を行っています。

5．聴覚障害者向けＩＴサポート事業

この事業は滋賀県よりITサロン事業の委託を受け、滋賀県立聴覚障害者センターにおいて、月曜～金曜　9時30分～18時00分、主に県内の聴覚障害者を対象に、ITに関する支援をしています。随時相談支援をしました。

［相談件数］

相談人数	５９	相談件数	４８

［相談内容と件数］

電話リレーサービス	１１	利用者登録・ホーム画面の登録方法・支払い方法など
スマートフォン操作	１０	キャッシュアプリやPay（支払）の仕組み（４件） 迷惑メール防止方法（６件）
アイ・ドラゴン４	1	申請、ネットワーク設定、アイ・ドラゴン４の設定
PC操作	１４	ZOOMやＧｏｏｇｌｅmeetなどオンライン会議の設定 ハガキソフトの操作方法、パワーポイント・エクセルの操作
ネットワーク設定	7	通信環境（Wi-Fi）の整備（３件）、通信速度の低下（３件）、データ量の制限（１件）
アップデート 購入・料金等	5	Windows１０から１１へのアップデート、OSのバージョンアップについて
計	４８	

・今年度はスマートフォンやPCメールの迷惑メールの相談やPCの操作（ハガキソフト、パワーポイ

ント、エクセル）の相談が多かったことが特徴でした。
・Windows１０から１１へのアップデートの相談も増えていました。
・日本財団電話リレーサービス主催、滋賀県立聴覚障害者センターは協力の形で電話リレーサービスに関する学習会をオンライン方式で開催しました。関連して、登録の相談もありました。
・コロナ禍の影響により、昨年度に続き ZOOM の契約方法、接続などの相談もありました。

６．大津市聴覚障害者相談員設置事業

この事業は大津市より委託を受け、大津市在住の聴覚に障害のある方々の地域生活支援を行います。

［年間活動件数］

	訪問	来所相談	同行	ﾒｰﾙ･FAX	関係機関	出張	交流	合計
人　数	142	8	6	40	181	15	38	430
回　数	45	6	3	49	187	5	5	300

［個別支援状況］

	福祉サービス利用	障害や病状理解	健康・医療	不安解消・情緒安定	保育・教育	家族・人間関係	家計・経済	生活技術	就労	社会参加・余暇活動	権利擁護	福祉推進・啓発	合計
人数	133	45	46	2	3	16	1	7	108	37	4	28	430
回数	82	36	36	2	2	13	1	6	82	16	4	20	300

［開催企画］

①　「おおつ・みみサロン」　（目的：生活情報の講座と交流）

・おおつ・みみサロンとしては3回にとどめ、法人高齢聴覚障害者事業推進チームが大津市でサロンを開催しました。

	日　程	会　場	内容	参加人数
第1回	5月26日（木） 10時～12時	平野公民館	「人と車と自転車 安全に」 講師：大津警察署　第一交通係	ろう者9名 難聴者4名
第2回	6月30日　（木） 10時～12時	ふれあいプラザ大津	「スマホで110番通報 第2弾」 講師：大津警察署　地域第一課	ろう者10名 難聴者２名
第3回	9月22日（木） 10時～12時	膳所公民館	「情報アクセシビリティコミュニケーション施策推進法～だれ一人取り残さない」 講師：滋賀県立聴覚障害者センター所長	ろう者８名 難聴者２名 家族１名

［出張相談］　（居住地域の公民館で行う聞こえの個別相談）

①　大津市聞こえの出張相談　（大津市内公民館や施設で実施）

・膳所・堅田・日吉台・南郷公民館・大津市科学館で一人40分の個別相談を行いました。申込者が多く開催回数を３回増やして実施しました。
・言語聴覚士による相談回と、認定補聴器センターによる相談回に分けて実施しました。言語聴覚士の回は申込者が無く、補聴器相談の要望が多い結果となりました。
・昨年に続き、地域包括支援センター（あんしん長寿相談所）が仲立ちとなった相談がありました。

実施日	会場	時間	協力者	相談者
5月20日（金）	膳所公民館	10-12時半	補聴器センター	4名
6月17日（金）	堅田公民館	10-13時	補聴器センター	5名
7月14日（木）	膳所公民館	10-12時	補聴器センター	2名
9月8日（木）	大津市科学館	10-12時	言語聴覚士	0名
9月28日（水）	大津市科学館	10-12時	言語聴覚士	0名
10月14日（金）	日吉台公民館	10-12時	補聴器センター	2名
11月4日（金）	南郷公民館	10-13時	補聴器センター	5名
11月17日（木）	南郷公民館	10-12時	補聴器センター	2名
12月9日（金）	堅田公民館	10-12時	補聴器センター	1名
年間相談者				21名

② 個別相談　電話での問い合わせや来所者による新規相談　12件

・APD（聴覚情報処理障害）に関する相談は毎年あります（２件）。

・難聴者の労働環境に関する相談が当事者だけでなく職場からもありました（3件）。

・乳児の難聴に関する相談は、情報窓口の分かりにくさ、少なさが課題となりました。

７．手話・要約筆記ボランティア養成事業

（第７９回国スポ・第２４回障スポ大会滋賀県開催準備委員会受託事業）

・手話・要約筆記ボランティア養成連絡会議の開催（全体会、手話・要約筆記合同部会）

当事者団体、関係団体など、幅広く委員を集め、ボランティアを効果的に行えるよう、協議する場として、連絡会議全体会を２回開催しました。

構成団体は、

滋賀県ろうあ協会、滋賀県中途失聴難聴者協会、滋賀県手話サークル連絡協議会、滋賀県手話通訳問題研究会、全国要約筆記問題研究会滋賀支部、滋賀県社会福祉協議会、滋賀県障害者スポーツ協会、びわこ学院大学、滋賀県障害福祉課、彦根市障害福祉課、当法人滋賀県聴覚障害者福祉協会

の11団体です。

① 第5回手話・要約筆記ボランティア養成連絡会議

（日時）　令和4（2022）年9月9日（金）14：00～16：00

（場所）　滋賀県立聴覚障害者センター　研修室およびオンライン

② 第6回手話・要約筆記ボランティア養成連絡会議

（日時）　令和5（2023）年3月7日（火）14：00～16：00

（場所）　滋賀県立聴覚障害者センター　研修室およびオンライン

手話･要約筆記ボランティア養成に関する事項など（テキスト、カリキュラム、養成日程など）を詳細的に協議する場として、手話・要約筆記部会を設けました。合同で5回開催しました。

（構成団体）　県ろうあ協会１名、県手話通訳問題研究会１名、県手話サークル連絡協議会１名、県中途失聴難聴者協会２名、全国要約筆記問題研究会滋賀支部２名、県国スポ・障スポ大会局　２名・事務局２名

第3回手話・要約筆記合同部会
（日　時）　　令和4（2022）年6月30日（木）14:00～16:00
（場　所）　　滋賀県立聴覚障害者センター　研修室
第4回手話・要約筆記合同部会
（日　時）　　令和4（2022）年7月25日（月）14:00～16:00
（場　所）　　滋賀県立聴覚障害者センター　研修室
第5回手話・要約筆記合同部会
（日　時）　　令和4（2022）年10月7日（金）14:00～16:00
（場　所）　　滋賀県立聴覚障害者センター　研修室
第6回手話・要約筆記合同部会
（日　時）　　令和4（2022）年12月14日（水）10:00～12:00
（場　所）　　滋賀県立聴覚障害者センター　研修室およびZoomオンライン
第7回手話・要約筆記合同部会
（日　時）　　令和5（2023）年2月20日（月）14:00～16:00
（場　所）　　滋賀県立聴覚障害者センター　研修室

・先催県視察の報告

手話・要約筆記ボランティア養成に向けた情報収集を図り、両大会に必要となるボランティアの技量水準や競技毎の配置人数などを調査・研究するために視察を行いました。

①	第22回全国障害者スポーツ大会「いちご一会とちぎ大会」リハーサル大会視察 日程：令和4（2022）年5月21日（土）～23日（月） 場所：21日宇都宮市清原体育館（バレーボール） 22日日環アリーナ屋内水泳場（水泳）、栃木市総合運動公園陸上競技場（フライングディスク） 23日とちぎ視聴覚障害者情報センター（ボランティア養成委託先） 視察員：事務局2名
②	第77回国民体育大会「いちご一会とちぎ国体」 コロナ感染予防のため人数制限があり視察できませんでした。
③	第22回全国障害者スポーツ大会「いちご一会とちぎ大会」視察 日程：令和4（2022）年10月28日（金）～31日（月） 場所：28日カンセキスタジアム、他会場（公式練習） 29日カンセキスタジアム（開会式）、県立南体育館（車いすバスケ） 30日栃木市総合運動公園（フライングディスク） 31日日環アリーナ屋内水泳場（水泳）、カンセキスタジアム（閉会式） 視察員：事務局2名

・指導者養成研修会の開催

○手話指導者養成講座［入門編・基礎編］の開催

国スポ・障スポにおける手話ボランティア養成を担う人材を育成するため、手話奉仕員養成改訂テキスト［手話を学ぼう　手話で話そう］の実技指導に必要な「知識・技術」を学び、講師の指導力の向上を図ることを目的とし、5回の講習会を開催しました。全課程修了者は19名でした。

○要約筆記者指導者養成

中央講習会に2名派遣しました。

現地受講（東京）とオンラインによる受講を行い、基礎コース1名、難聴者コース1名が修了しました。

啓発活動の実施

○出前講座の現況報告

出前講座は、県内市町で活動されている手話もしくは要約筆記サークル等を訪問し、国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会の機運を高めるとともに、両大会へのボランティア参加を呼びかける啓発活動で、2022 年度は県内にある手話 7 サークルを訪問しました。

① 湖南手話サークル「手のひら」　令和 4 年 4 月 22 日
② 彦根手話サークル「指音」　令和 4 年 5 月 27 日
③ 守山手話サークル「えがお」　令和 4 年 5 月 30 日
④ 野洲手話サークル「ともしび」　令和 4 年 6 月 1 日
⑤ 守山手話サークル「さぼてん」　令和 4 年 7 月 8 日
⑥ 草津手話サークル「おたまじゃくし」　令和 4 年 11 月 14 日
⑦ 栗東手話サークル「手と手」　令和 4 年 11 月 15 日

○啓発セミナーの開催

手話･要約筆記ボランティア募集に向けて、県民に対しより多くの人に手話･要約筆記ボランティアの活動を知ってもらうため、過去に全国障害者スポーツ大会に出場した選手の体験談や国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会の概要、手話・要約筆記ボランティアの活動について説明し、手話･要約筆記ボランティアへの参加機運を高める目的で開催しました。

(1) 日　時：　令和 5（2023）年 1 月 29 日（日）13:00～16:00
（会　場）：　滋賀県立障害者福祉センター（草津市）
（参加者）：　約 60 名
（内　容）：　講演「デフバレーの魅力」　デフバレーボールチームメンバーとの交流会とバレーボール体験、ボランティア募集についての説明

(2) 日　時：令和 5（2023）年 2 月 4 日（土）10:00～11:00　2 か所、14:30～15:30
（会 場）：滋賀県立聴覚障害者センター　研修室およびサロン室　計 3 回開催
（参加者）：登録手話通訳者 63 名、登録要約筆記者 19 名
（内　容）：手話・要約筆記ボランティア事業の概要および役割についての説明

手話通訳派遣状況（件数・人数）　2022年4月1日～2023年3月31日

	医療		人権		労働		住居		教育・保育		社会生活		福祉推進		文化・教養		講座		放送		啓発講座		合計	
	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数
大津市																							0	0
草津市	14	14							4	5	1	1					3	6					22	26
栗東市	23	23	1	1							12	14	10	22			6	11					52	71
守山市													1	2			2	4					3	6
野洲市	3	3							7	8	1	1	3	6			2	4					16	22
湖南市	4	4									4	6	8	13			1	2					17	25
甲賀市											3	3	5	10			3	6					11	19
近江八幡市	3	3															2	4					5	7
東近江市	8	8							1	1	3	7	3	7			2	4					17	27
彦根市	1								4	7	1	1	1	1									7	9
米原市	2	2									5	8	21	37			4	8					32	55
長浜市	6	6									1	1	10	12									17	19
高島市	14	14									1	1											15	15
竜王町	4	4									13	25	1	2	2	2							20	33
愛荘町	3	3									1	1	6	12									10	16
甲良町	1	1																					1	1
多賀町													1	3									1	3
日野町	6	6									11	15	1	2									18	23
豊郷町	12	12									10	10											22	22
市町計	104	103	1	1	0	0	0	0	16	21	67	94	71	129	2	2	25	49	0	0	0	0	286	399
県事業									2	4	5	16	40	96			6	12					53	128
公的事業					5	8			36	61	16	38	301	702			13	23					371	832
自主事業			1	1	104	196							1	1			48	54	21	45			175	297
合計	104	103	2	2	109	204	0	0	54	86	88	148	413	928	2	2	92	138	21	45	0	0	885	1,656

※市町とは、市町福祉窓口を経由したもの
※公的事業とは、公的機関および団体による派遣
※自主事業とは、民間団体および機関等による派遣

要約筆記派遣状況（件数・人数）　2022年4月1日～2023年3月31日

	医療		人権		労働		住居		教育・保育		社会生活		福祉推進		文化・教養		講座		放送		啓発講座		合計	
	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数
大津市											2	4	16	49									18	53
草津市	2	2									2	3	8	25									12	30
栗東市											1	1	4	14									5	15
守山市					1	1																	1	1
野洲市											6	11	3	8									9	19
湖南市																							0	0
甲賀市													2	8									2	8
近江八幡市													9	26									9	26
東近江市	1	1									6	11	7	19									14	31
彦根市	2	4									5	9	3	11									10	24
米原市											1	2	3	8									4	10
長浜市													2	6									2	6
高島市																							0	0
竜王町													1	4									1	4
愛荘町																							0	0
甲良町																							0	0
多賀町																							0	0
日野町	4	4									1	1											5	5
豊郷町	1	1							4	10	5	10											10	21
市町計	10	12	0	0	1	1	0	0	4	10	29	52	58	178	0	0	0	0	0	0	0	0	102	253
県事業											2	7	50	162									52	169
公的事業					3	3					1	4	45	169									49	176
自主事業					16	57																	16	57
合計	10	12	0	0	20	61	0	0	4	10	32	63	153	509	0	0	0	0	0	0	0	0	219	655

※市町とは、市町福祉窓口を経由したもの
※公的事業とは、公的機関および団体による派遣
※自主事業とは、民間団体および機関等による派遣

3.　2022（令和4）年度 びわこみみの里 事業報告

（1）障害福祉サービス事業実施状況（定員３０名中現員２８名）

①自立訓練(生活訓練)事業　定員　６名　現員３名
・個別支援（軽作業訓練等）
②就労移行支援事業（※休止中）定員　６名
・個別支援(就労支援)　・ＳＳＴ学習適宜実施
・OB･OG スマイル会支援　・就労アセスメント
③就労継続支援Ｂ型事業　定員１８名　現員２５名
・個別支援（就労事業実施）
④就労定着支援事業　現員１名
・３年間１ヵ月毎訪問、随時相談支援
⑤送迎サービス（１６名、他は自力通所）
１．草津コース　約６０分
２．野洲コース　約４０分
３．個別送迎　不定期２コース
⑥施設外支援･就労
・Ｙ氏畑作業(随時)
⑦その他適宜関連機関とのケース会議等多数あり

（2）入退所等　入所　退所

生活訓練	２名	１名（他事業所に就職）
就労移行支援	０名	０名
就労継続Ｂ型	４名	６名(就職、個人都合など)
就労定着支援	１名	１名（期間満了）
合　計	７名	９名

＊入所見学
・6/14 女性→入所
・6/27 女性
・6/30 女性
・10/ 3 守山市　男性
・10/12 野洲市　男性
・10/17 守山市　男性
・11/8 草津市　女性
・2/2 大津市　男性→実習→入所
・2/3 守山市　男性→実習→入所

（3）就労事業実施状況

①菓子製造
日々の菓子製造。チラシ配布で注文受け、出張販売主体
②縫製
独自手作り･縫製品を製造し、ショップ・イベント等で販売
受注縫製製造販売
就労事業振興センター共同事業「steed」バッグ(競走馬ゼッケン帆布)の製造販売、不織布を使った植物のプランター、いきいき百歳体操ベルト
企業の作業服の名札付け･裾直し作業、福井セルプからの依頼でエコバック製作等を定期的に受託
③軽作業
高畑産業、ヒロノ技研、山豊テグス、守山玩具、ＪＰＦ、カネキタ、（株）清原等事業所から下請け作業、廃棄ケーブル被覆除去作業、空き缶リサイクルTCC　Japan　聾話学校　空き缶回収（1か月に１度：定例化）、１月～UV レジンでの自主製作開始。（びわこブローチ、アイラブユーブローチ）
④施設外就労　Ｙ氏畑作業
⑤就労会計　工賃向上に関する取り組み
菓子製造･販売で特筆すべきことは、県内各地の聴覚障害者団体や手話サークル、みみの里のある守山市にある自治会様等から、クリスマス会等の景品として注文をいただいたことです。コロナ禍で２年以上、イベント等の代わりに、手話サークル等で販売活動をしてきたことで、少しずつみ

なさまに評価されるようになり、このような注文につながったものと思います。また、昨年同様に１２月はクリスマス企画の目玉としてsteedの限定カバンとケーキの限定販売や、滋賀県主催のネット販売「びわ湖まん福市場」への出店も行いました。

縫製作業では、これまでの自主製品の製作・販売を進めながら、企業のユニフォームの名札付け・裾直し作業や地域の農園からの注文で不織布を使ったプランターの製作、守山市地域包括支援センターからの相談をきっかけに作成した「いきいき百歳体操ベルト」、そして企業様の不要衣服のリサイクルエコバックの縫製など、地域の方とのタイアップ商品にも取り組むことができました。１０月にはsteedがＮＨＫの取材を受け「おうみ６３０」「ほっと関西おひるまえ」で放送され、それを見たお客様がたくさん購入にお越しいただくことがありました。また、今年から栗東市に続き守山市のふるさと納税の返礼品に選ばれ、１２月から１月にかけて注文に追われる日々を過ごしました。

軽作業では、新しく守山市にある（株）清原様から箱折のお仕事をいただきました。みんな作業に馴れ、今では軽作業の中心作業になっています。また、新たに軽作業でも工賃アップを狙って自主製品を開発。レジンを使ってアイラブユーの手話や琵琶湖の形をしたブローチ等を作成。２月の後援会の上映会で初めて販売したところ完売することができました。

このようなみなさまのご理解・ご協力により、コロナ禍の中で大変な状況ですが、年間の目標を超えることができました。しかし、利用者の高齢化は進み、体調を崩す方も目立ち、これまで通りの作業が難しくなっています。新しい利用者の確保とひとり一人を大切にする作業のあり方についての検討が必要です。

（4）会議・研修等

①全体職員会議　２．５時間位

（別途「運営」「支援・作業」「販促」会議各月１回１時間開催）

4/25, 5/23, 6/27, 7/25, 8/22, 9/26, 10/24, 11/28, 12/26, 1/30, 2/27, 3/27

②外部会議 ※コロナ禍でオンラインでの会議もある。

- 全国ろう重複施設連絡協議会総会（小野、田中）　6/17
- 全国ろう重複連絡協議会（第26回）（小野）11/4
- 湖南地域障害者サービス調整会議（田中）5/27, 11/25
- 湖南地域障害者サービス調整会議進路部会（田中）　6/24,　10/7,　2/3
- 守山市障害者自立支援協議会事務局会議（小野）
  8/9, 9/13, 10/11, 11/8, 12/13, 2/14, 3/14
- 守山市障害者自立支援協議会定例会議（小野・田中）5/24, 7/26, 9/27, 11/22, 1/24, 3/28
- 守山市障害者自立支援協議会相談支援部会（太田）4/22, 6/28, 8/23, 10/25, 12/27, 2/28
- 守山市障害者通所施設連絡協議会（小野・田中）7/8, 9/9, 11/11, 1/13, 3/10
- 守山市計画相談事業所連絡会（太田）
  ワーキンググループ②（太田）6/22, 10/5
- 法人利用者拡大チーム（小野）6/15, 8/9, 12/13, 3/14
- 法人高齢者対策チーム（田中）9/12, 12/1, 1/12
- 他、きょうされん理事会などに参加

②職員研修

- ７/14,　15 甲乙同時防火管理講習会（田中）
- 8/7　法人合同研修　ハラスメント　（キラリエ草津）
- 10/13, 11/15, 12/15 相談支援専門員現任研修（太田）
- 10/31 湖南圏域精神保健医療福祉従事者研修会（田中）
- 11/25 経営交流会　大阪　アネックス法円坂（小野）
- 11/29　滋賀県障害者虐待防止・権利擁護研修（小野）
- 12/18 法人聴覚障害者の社会的自立を考えるセミナー（キラリエ草津）
- 2/19　法人聴覚障害者の社会的自立を考えるセミナーセミナー
  （学びあいステーション米原）

※他、職員会議中に虐待防止のセルフチェック、健康ストレスチェック、ハラスメント等の研修を実施

③スタッフ学習

5/20 スタッフ学習会（栄養について）
8/16　スタッフ見学研修会（めんたいパーク）
11/17 お出かけ研修企画　日吉大社　紅葉狩り、穴太積み

（5）出店・イベント・レク等

- 6/11　ぽんぽこまつり２０２２
- 6/17　「SAUNA NO TUDOI」（第2なぎさ公園）

・10/15　南笠東地区イベント
　高次脳障害研修会：高槻
・10/23　守山小津会館イベント
・11/1～29 滋賀銀行栗東トレセン前支店ロビー展示→（みみの里、聴導犬の啓発）
・11/6　手話ふれあいフェスティバル
・11/12・13 農福連携マルシェ（イオンモール草津）
・11/19　守山市民活動フェスタ
・11/23　もりやま地域共生大会　守山市民ホール
・11/26　土曜手作り市　みみの里
・1/15　大津市手話まつり　大津市民会館
・2/12　法人後援会映画会　栗東さきら
・2/19　法人セミナー　米原
　※他、各地域の手話・要約筆記サークル、近江八幡市ひまわり館、あじさいサークル、大津たんぽぽサークル、びわこサークル、しじみサークル、米原市役所など

（6）体験実習・職場実習受入等（入所予定者の事前実習は除く）
・7/1,5,12　滋賀医科大学学生フィールドワーク受け入れ

（7）施設見学
・5/30 大津市ろうあ福祉協会げんきサロン
・7/12 同志社大学Ｊ准教授
・7/27 放課後等デイサービス PONYKIDS
・8/12 放課後等デイサービス PONYKIDS
・9/16 八幡市男山南地区民生委員児童委員協議会
・10/1 守山市・東近江市手話講座見学
・10/4 あま市美和地区民生児童委員
・10/14 近江八幡市手話講座見学
・10/21 八幡市ボランティア連協
・10/27 大阪市中央区民生児童委員協議会
・10/31 高槻市人権まちづくり協会
・11/9 八幡市八幡中央民生児童委員協議会
・12/9 野洲市手話講座見学
・12/22 守山びわこよし笛アンサンブル
・3/2 センターいきいき教室参加者
その他個人数名見学などあり

（8）ボランティアの支援・交流会等
・自主活動（縫製作り・花壇畑育成等）随時みみの里内にて
・縫製作業ボランティア　週１～２回　数名
・聴導犬ボランティア
・steed ボランティア
・野洲市手話講座受講生
・龍谷大学社会学部学生

（9）地域交流
・4/17 水保町美化作業（太田）
・8/21 水保町美化作業（田中）

(10) 施設の会議利用等
・5/25 登録意思疎通支援者研修会
・3/10 守山市施設連絡協議会
　＊その他、モニタリング、ケース会議等多数

(11) その他
・4/22 県運営適正化委員会の巡回指導
・4/28 スタッフとの懇談会（第１回）

・6/28 小児保健医療センターとの懇談会 15：00
・7/7 火災避難訓練（第１回目）
・8/23 畑のボランティア（不定期）大津Ｉ氏、Ｎ氏　8/23　ニンジンわさび菜苗植え 9/6 ダイトロン福祉財団「20 周年記念贈呈式」パラリンピアン木村氏講演
・9/15 スタッフとの懇談会（第２回）
・10/5 物部小学校　福祉学習　岡田・板垣対応
・10/6 歯科検診
・10/6NHK 取材　steed について
・10/25 聴導犬・みみの里での訓練開始
・10/27・28 頸肩腕特殊検診
・11/30 大津市石山在住の社協顧問より銅線（３５kg）の提供あり。
・11/30, 12/9 京都産業大学「ソーシャルガバナンス論」
　　ゲストスピーカーとして協力（Zoom）
・12/20 守山市シェイクアウト訓練＋避難訓練（第２回目）
・1/4 新年互例会
・1/15 滋賀民報「県内の作業所～いきいき百歳体操ベルト」紹介
・1/25 大雪のため交通機関ストップ（閉所扱い）
・1/31　スタッフK.K さんご逝去
・3/14 スタッフとの懇談会（第３回）
・セルプ福井経由で、服のリユースエコバックの受注あり。
・県立特別支援学校５校に「見学・実習」案内送付（11 月）。進路指導部長懇談

障害者相談支援事業

１．特定相談支援事業「ふくみみ」
　対象 10 名支援計画作成およびモニタリング実施。
２．就労よろず相談事業（５件あり）
　聴覚障害者を雇用している企業等から従業員に対することでの相談（１件）
　　・小鳩会
　聴覚障害者ご本人から（２件）
　関係機関から（２件）
　　・ハローワーク彦根　・地域生活相談センター（彦根）

4.　　2022（令和4）年度 湖北みみの里 事業報告

＜施設経営の経営方針＞

1　すべての利用者にとって、元気で楽しく笑顔いっぱいの生活が送れるようにします。
2　すべての利用者が得意とする労働を通じて輝けるようにします。
3　手話、筆記その他のコミュニケーション環境を保障し、情報提供機能を高め、すべての利用者にとって語らい、情報を共有でき、学びの場となるようにします。
4　手話や手話で様々な情報・知識を学び、それらを地域に発信していけるようにします。

＜スタッフ(利用者)の状況＞ (2023 年 3 月 31 日現在)

・登録者－２１名(内　視覚障害を併せ持つ人３名　知的障害を併せ持つ人２名)
　　コロナ感染予防のため、N女史休みの状況
・１日平均利用者数－１５．１名
・年齢 22 歳～89 歳　　平均年齢　63.4 歳
・米原市在住 7 名　・長浜市 10 名　・彦根市在住 4 名(内 1 名休み)
・男性 10 名　・女 11 名

＊現在、新型コロナウィルス感染症防止対策により、前年度に引き続き、1 日勤務短縮(10:00~15:00)
昼食・時間差交替→継続中　多目的室、食堂にて飛沫防止パネル設置
現在のところ、クラスター発生がない。

＜職員の状況＞ (2023 年 3 月 31 日現在)

【職員体制】

・管理者　1 名
・サービス管理責任者　1 名
・生活支援員　2 名（常勤　1 名　週 3 日勤務　1 名）
・職業指導員　2 名（常勤　1 名　月 14 日勤務　1 名）
・目標工賃達成指導員　2 名（月 12 日勤務　1 名　週 4 日勤務　1 名）

【健康状況】

・健康診断→全員受診済
・頚肩腕診断→全員受診済
・インフルエンザ予防接種→1 人除いて、全員接種済
・新型コロナワクチン接種→全員済　3 回目→5 名接種済

＜具体的な取り組み＞

１．障害福祉サービス事業実施状況

（1）就労継続支援Ｂ 型事業　定員 20 名　現員　21 名（2023 年 3 月 31 日現在）

①班作業

・木工、縫製、もぐさ、リサイクル、農作業、生パスタ製麺、受注作業

②送迎サービス

２コースー長浜コース、米原コース（週２回）

③おたのしみ企画（3 か月ごとに１回　水曜日）

④いきいき教室企画（年４回　水曜日）

⑤個別相談→中間モニタリング会議→2022 年 9 月 30 日実施済

年間モニタリング会議→2023 年 3 月 31 日実施済

⑥避難訓練→1 回目→2022 年 10 月 21 日(金)　「避難訓練、通報訓練」

2 回目→2023 年 3 月 17 日(金)　「避難訓練、通報訓練」

○障害福祉サービス報酬費

2022 年 4 月～3 月度　29,459,411 円　　2021 年 4 月～3 月度　28,691,965 円

２．就労支援事業実施状況

（1）就労支援会計

①収支状況(収益)

	2022 年度 収入	2022 年度 支出	2022 年度 収益	2021 年度 収益	差額
合計	3,117,020	3,294,483	**−177,463**	2,726,384	

○2022 年度の収支差額は、−177,463 円ですが、2021 年度には、工賃と経費が含まれていないため、差額の算出ができない。

②工賃実績報告

	2022 年度工賃	2021 年度工賃
合計	¥2,382,371	¥2,367,926

(2021・2022 年度工賃の中に、3 月決算ボーナス含む)

○新スタッフは９月から１名、１月から１名で、登録者が２１名になった。

（2）班別作業の報告

①木工

注文内容

◇個人注文がいくつかあった。犬用食器、譜面台(６個)、てまりケース、鏡台の椅子

〇個人等からの注文製作の内容は上記の通り。

〇手話フェスティバルやポンポコまつりなどのイベント販売が少しずつできるようになり、販売が増えている。これから人気商品や新商品の試作などを検討していく必要がある。

木工の技術を持っているスタッフが高齢ということもあり技術の継承が困難な面があり今後どのように続けていくかが課題となる。

	2022 年度	2021 年度	前年度比
合計	¥132, 908	¥101, 553	約 130%

②縫製

◎マルチスイッチ

・注文内容

子ども用黒色ポンチョ＆スカート風ひざ掛け（セットアップ）	１着
サルエルパンツ（もんぺ風）	１着
サルエルパンツ	11 着
ワンピース	６着
制服風ポンチョ＆ワンピース&ブラウス&付け襟	各１着
チェック柄サルエルパンツ&ポンチョ（セットアップ）	各１着
その他	各３点

合計　123, 909 円

・マルスイッチと一緒にトークイベントに参加する。

『オトナ女子企画』第３弾（於：地域コミュニティ「森のおうち」）には縫製班からはスタッフ３名が参加。

『オトナ女子企画』第４弾（於：彦根ビバシティ）には縫製班からはスタッフ１名が参加。

◎個人注文

・半ケツにならないズボンの会　合計　75, 311 円

・滋賀県デフバレークラブ　合計　87, 500 円

◎その他（サコッシュ、巾着、ゆび編みバッグなど）　合計　55, 087 円

◎内職（車シート）　合計　62, 500 円

◎リフォーム　合計　22, 150 円

◎縫製品（布マスクなど）　合計　28, 600 円

2022 年度 縫製班合計 455, 057 円－材料費 99, 175 円＝355, 882 円

	2022年度	2021年度	前年度比
売上合計	¥335,882	¥417,250	80.4%

2021年度は材料費があまりかかっておらず、売り上げを伸ばせましたが、2022年度は材料費がかかる製品が多く、ミシンの修理などにも費用がかかりました。来年度は、材料費をいかに抑えられるか、購入先についても検討していきます。

③もぐさ

2022年度収益は147,166円。

円形もぐさは、4月時点で受け入れを終了。棒もぐさも同じく12月時点で受け入れを終了。主の作業としては、新伊吹筒にもぐさを詰める作業である。桝、小枠、銀板もコンスタンスに仕事をいただけた。

④リサイクル

売り上げが約2倍に伸びた。2021年度477,475円だったが、2022年度は907.302円であった。その主な要因は、協力してもらえる自治体が、年度当初から9カ所であったのと、山東グリーンパークにグランピング施設が開設されたことがおおきい。アルミ缶の買取単価は、20年度には215円にまで高騰したが、昨年度途中から173円に値下がりし、その後173円で落ち着いている。

	2022年度	2021年度	前年度比
合計	¥907,302	¥477,475	190.0%

⑤農業

外注はなくなり、施設内での畑での野菜作りのみとなった。21年度は当初より、栽培計画を立て、いろんな野菜の栽培を行い、26,175円の収益だったが、22年度は7.383円の収益にとどまった。指導者・人員・販路等の課題もあるが体制を立て直し、農業班の作業を充実させる必要がある。

	2022年度	2021年度	前年度比
合計	¥7,383	¥26.175	28.0%

⑥生パスタ製造

製麺時は、作業効率をあげる為とミスを防ぐ為３人体制で行い、粉などの材料を計量する時は、間違いが起こらないように二人の目で確認しながら進めた。また衛生面には細心の注意をはらいながら作業を進めた。

毎月１回パスタミーティングを開き製麺担当者で情報の共有を行ったり、メイン事業として今後の展開、方向性などを相談した。

(プレーン生パスタ麺)

注文先：愛らんど（毎月１回)、ひだまり（毎月１回)、米原市役所（毎月第３週）

ふるさと納税、個人注文

随時：滋賀県立聴覚障害者センター、びわこみみの里

(よもぎ生パスタ麺製麺回数)

シェフズバイローザンベリー多和田　４月２回・５月４回・７月３回・８月３回

(プレーン生パスタ麺製麺回数)：

４月３回　５月２回　６月４回　７月２回

８月２回　９月３回　１０月４回　１１月４回　１２月３回　１月４回

２月４回　３月１回

年度	2022 年度	2021 年度	前年度比
売上合計	¥836,708	¥877,160	95.3%

⑦受注作業

ゴムパッキン、しつけ糸の商品化、釣り具の商品化、ネジの袋詰め作業など

縫製ミシン内職

○昨年度に比べ収入が微増。作業意欲が要因は作業習熟度が上がり、作業速度が上がったことと思われる。課題としては作業能力に見合った収益になっていないこと。時給単価が高い作業を探していく必要がある。

	2022 年度	2021 年度	前年度比
合計	¥788,705	¥733,487	１０７％

３．出店販売実施状況

・米原市役所：毎月１回水曜日１０回
・ぽんぽこまつり（6/11）
・滋賀県ろうあ者大会（6/26）
・ほおずき作業所バーゲンセール（8/9）
・法人後援会上映会（2/12）
・法人社会的自立を考えるセミナー（2/19）

４．お楽しみ企画実施状況

・4 月→２７日（水）　「体力測定」
・6 月→２２日（水）　「誕生会」
・9 月→２８日（水）　「誕生会」
・10 月→２６日（水）　「プチ運動会」

・12 月→２１日（水）誕生会&クリスマス会
・1 月→中止
・3 月→誕生会

○恒例の誕生会に職員が当番を決め、内容を準備して当日の進行でスタッフとコミュニケーションが取れて楽しいお楽しみ企画になった。

５．湖北みみの里教室実施状況

・7 月→２０日（水）「季節の健康豆知識」
・9 月→２１日（水）「防災を学ぶ」法人と共催
・11 月→中
・1 月→中止
・3 月→ボッチャ

※１１月と１月は警報(大雨、大雪)のため、中止で残念でした。　参加人数は１０人～１５人で、呼びかけに工夫が必要です。

○健康相談

・湖北みみの里いきいき教室の併設コーナー「健康相談」→実施無し
・1 年に 1 回の歯科健診の実施。

健診日：11 月 24 日　受診人数：７人（希望者のみ）受診料：１事業所５千円

歯科医師会、滋賀県歯科衛生士会、滋賀県の３者が協力して行う事業として、障害者通所事業所において歯科健診歯科保健指導事業を実施されている。それを利用。

・健診をきっかけに、自身の口の健康状態を知り、必要な場合は歯科医院の受診をしてもらえている。

６．会議・研修等

（1）職員会議&作業・生活会議

毎月 1 回実施

必要に応じて都度実施

（2）外部会議

①長浜米原しょうがい者自立支援協議会

・事務局会議→毎月第一水曜日実施
・運営委員会→2 ヶ月 1 回開催、
・権利擁護部会→5 月～2 ヶ月 1 回開催
・全体会議→年に 2 回開催

②湖北地域しょうがい者支援事業所協議会

・開催あるものの欠席

③米原市手話施策推進会議

・第 1 回－7 月 4 日(月)　於：米原市役所本庁
・第 2 回－10 月 26 日(木)　於：米原市役所本庁

・第3回ー2月15日(水)　於：米原市役所本庁

④米原市障がい者計画等審議会

・第1回ー1月20日　於：米原市役所本庁

⑤米原市地域福祉計画推進会議

・第1回ー10月21日(金)　於：米原市役所本庁

・第2回ー3月8日(水)　於：米原市役所本庁

⑥長浜市児童発達支援センター及び長浜市こども療育センター療育検討委員会

・12月16日(金)　欠席

⑦滋賀県社会福祉審議会ユニバーサルデザイン推進検討委員会第2専門分科会

・第4回→1月26日(木)　於：滋賀県危機管理センター　第1専門分科会合同委員会

・第5回→3月16日(木)　於：滋賀県危機管理センター

⑧(仮称)長浜市手話言語条例を検討する懇談会

・第3回ー6月17日(金)　於：長浜市役所

・第4回ー8月19日(金)　於：長浜市役所

・第5回ー12月26日(月)　於：長浜市役所

＊3月22日(水)、長浜市議会で採決

手話で共に暮らす長浜市手話言語条例→4月1日施行　全国で488番目施行

滋賀県で6番目施行

（3）職員研修

・湖北圏域しょうがい福祉サービス事業所等従事者向け連続基礎講座

全7回中、6回出席　山口

7．施設見学・取材等

【施設見学・取材】

7月ー山東民生委員児童委員協議会

10月ー令和4年度米原市手話講座実地学習

11月ー近江八幡市聴覚障害者福祉協会

12月ー野洲市手話講座受講生

2月ー半ケツにならないズボンの会&㈱ボンフリー&滋賀大学教授&彦根市社協

【会場使用状況】

4月ー米原市聴覚障害者協会定期総会

5月ー米原市聴覚障害者協会たまり場

滋賀県意思疎通支援者研修・2022年度事業説明

手話関係団体の出前講座の資料確認

6月ー第7回滋賀県ろうあ者大会実行委員会

7月ーきょうされん滋賀支部湖北ブロック会議

湖北委員会・チヂミ材料の事前準備

9月ーきょうされん滋賀支部湖北ブロック会議
滋賀県手話通訳問題研究会・N-action　　班　学習会
11月ー滋賀県ろうあ協会理事会・拡大理事会
きょうされん滋賀支部湖北ブロック会議
12月ー滋賀県手話通訳問題研究会湖北班会議
1月ーきょうされん滋賀支部湖北ブロック会議
3月ーきょうされん滋賀支部湖北ブロック会議

＊坂田小学校の学校行事、坂田スポーツ少年団等に駐車場提供（随時）

８．手話啓発（実施無し）

９．施設設備備品等整備状況

新規購入→パソコン１台、タブレット１台

10.　その他

5.　　2022（令和4）年度 聴導犬訓練事業 事業報告

2022 年

3／10（木）　聴導犬候補犬との初対面
　　Oさん夫妻：音　　Iさん：パルム
　　髙畑　村上　　松岡　松谷　中村
3／15 付　　厚労省通知
　　身体障害者補助犬（介・聴）の訓練基準及び認定要領の一部改正について
3／29（火）　県障害福祉課福本氏より
　　訓練の現状について（問い合わせ）
4／19（火）　みみの里卒業のTさん　「聴導犬を持ちたい」との情報
　　Iさんと聴導犬啓発事業に関する業務委託契約
5／22（日）　身体障害者補助犬法施行 20 周年
5／31（火）　Tさん相談会実施
6／5（日）　音、パルム誕生日（1 歳）
　　服従訓練をひとまず終え、音の訓練を開始
6／28（火）　Tさん夫妻相談会実施　将来聴導犬を持つ方向を確認
7／5（火）　新任職員研修「聴導犬訓練事業について」　講師
7／27（水）　ポニーキッズとの交流会（びわこみみの里）
7／30（土）　速野学区人権学習会　講師
8／12（金）　ポニーキッズとの交流会（びわこみみの里）
8／22（月）　守山養護学校職員研修会　講師
9／16（金）　八幡市（京都府）男山南地区民児協見学対応　聴導犬デモ
10／1　（土）　手話講座生（守山・東近江）向け　　〃
10／4　（火）　あま市（愛知県）美和地区民児協見学対応　　〃
10／11（火）　守山北中学校福祉体験学習会　講師　聴導犬デモ＋手話講義
10／18（火）　読売新聞大阪本社より取材（聴導犬について）
10／21（金）　八幡市（京都府）ボランティア連絡協議会見学対応　聴導犬デモ
10／25（金）　音、パルム合同訓練開始（於・びわこみみの里）
　　Oさん、Iさん。　村上、松谷、松岡、中村。
10／30（日）　守山市今宿自治会人権学習会　講師
10／31（月）　高槻市ボランティア連絡協議会見学対応　聴導犬デモ
11／6　（日）　守山市吉身学区福祉を考える集い　講師　（立入が丘小）
11／8　（火）　音、パルム合同訓練
11／9　（水）　八幡市（京都府）八幡中央地区民児協見学対応　聴導犬デモ
11／11（金）　NHK Eテレ　ポッキー画像出演
　　バリバラ「わん」ダフルワールド～知られざる補助犬の世界
11／22（火）　音、パルム合同訓練

11／29（火）　　〃
12／6　（火）　読売新聞大阪本社より電話取材
12／10（土）　近江八幡市ふくふくフェスタ　講師
12／13（火）　音、パルム合同訓練
12／20（火）　　〃
12／24（土）　音　避妊手術
12／26（月）　パルム　再検査（心エコーなど）

2023 年

1／6（金）　　パルム去勢手術
1／8（日）　　読売新聞に補助犬に関する記事
1／10（火）　音、パルム合同訓練
1／24（火）　音、パルム合同訓練　のち各家庭へ
2／7（火）　　音、パルム合同訓練　　中途失聴のＫさん夫妻見学
2／14（火）　音、パルム合同訓練　のち各家庭へ
3／7（火）　　音、パルム合同訓練　Ｔさん夫妻見学
3／10（火）　三重県鳥羽市聴協の見学対応
3／14（火）　音、パルム合同訓練
3／21（火・祝）　木浜自治会人権学習会講師
3／28（火）　4／4（火）　音、パルム合同訓練

※聴導犬ポッキーの絵本作り　進行中
※補助犬の医療費補助　2023 年度県予算に計上（@20,000 円）

2022.4～2023.3 ポッキー活動報告 ［聴導犬訓練事業資料］

日 時	場 所	備 考
2022.4.12	びわこみみの里	トレーニング
4.24	コミセンやす	滋賀県手話サークル連絡協議会 同行
5.1	守山市 ル・ラヴァージュ	手話カフェPocKy オープン
5.29	野洲文化小ホール	湖布二部仕立て着物ファッションショー出場
6.12	金森自治会館	金森地区民生委員 さま
7.1	やましろ施設見学	同行
7.27	びわこみみの里	TCCセラピー 放課後デイサービスPONYKIDS さま
7.3	地球市民の森セミナーハウス	速野学区さま 人権学習 デモ
8.12	びわこみみの里	TCCセラピー 放課後デイサービスPONYKIDS さま
8.22	守山養護学校	守山養護学校教職員さま
8.26	小津会館	打ち合わせ
9,7	コミセンやす	ともしび手話サークルさま
9.8	京都府医療少年院	講演
9.12	すこやかセンター	守山市民生委員さま
9.16	びわこみみの里	京都府八幡市 男山南児童民生委員さま
9.3	喜福さま 東近江市	難病作業所さま
10.1	びわこみみの里	守山市手話入門講座生
10.4	びわこみみの里	講演デモ
10.11	守山北中学校	中学一年生さま
10.14	守山市地域総合センター	玉津小学校6年生さま
10.21	びわこみみの里	京都府八幡市
10.23	守山市図書館	小津学区さま
1030	今宿自治会館	今宿学区さま
10.31	びわこみみの里	高槻市人権まちづくり協会様
11.1	滋賀銀行・栗東トレセン前支店	聴導犬啓発活動展示準備に同行
11.6	立入小学校	吉身学区のつどいに出演
同上	コミセンきたの	手話フェスティバルステージに同伴
11.9	びわこみみの里	京都府八幡市 民生委員さま
11.17	地球市民の森セミナーハウス	速野学区さま
11.25	地域総合センター	玉津小学校6年生さま
11.27	コミセンきたの	手話バンドなんくるないさーず10周年記念ライブ出演
1210	ひまわり館	近江八幡福祉の集い 出演
12.18	守山コミセン	盲ろう者クリスマス会に参加
2023.3.1	びわこみみの里	講演デモ
3.21	木浜町公民館	木浜自治会館人権学習

2022年度も引き続きデモ活動も制限されましたが、啓発活動の一つとして、手話カフェ「PocKy」を仲間に協力を得て、２か月に一度計5回開催できました。また、ポッキーの絵本も制作中です。たくさんの方々に読んでいただき、身体障害者補助犬たちが社会になじむよう期待したく、皆さんに応援頂きたく願います。現在もいろんなカフェにポッキー同伴で入店し、身体障害者補助犬ステッカーを貼っていただけるカフェも増え、ポッキーのおかげで、たくさんの方々との繋がりを持てるようになり、本当に感謝しています。今後も聴導犬の啓発活動に、ポッキーの健康管理をしながら、講話を中心にDVDを活用し続けていきます。 以 上